

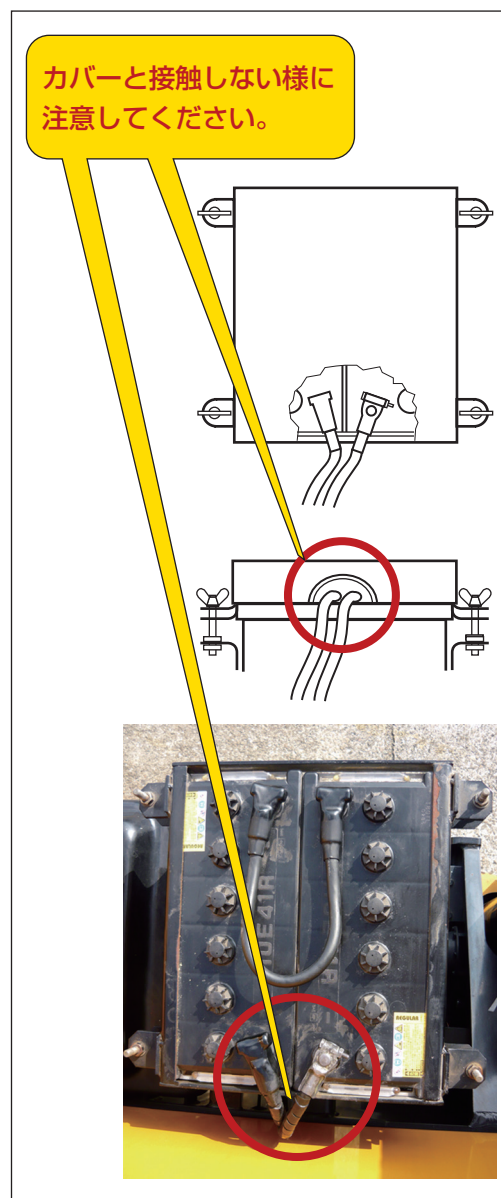
バッテリーケーブル端子の取外し・取付け時等の注意について

バッテリーケーブル端子の取外し・取付けを行う場合は次の事項に注意して作業を行ってください。バッテリーケーブル端子が損傷したまま使用したり、正しく取付けができていないと、走行中の振動等によりショートして引火の原因となります。

<バッテリーケーブル端子取外し・取付け時の注意>

- ① 取外しは、マイナス端子から取外してください。
 - ・ マイナスはボディアースとなっています。プラスから先に取外すと、誤ってプラス端子とボディ間で接触した場合ショートして引火の原因となります。
- ② バッテリーケーブル等の点検を行って下さい。
 - ・ バッテリーケーブルの被覆に損傷が無い点検を行ってください。
 - ・ バッテリーケーブル端子のカシメは正しくできているか点検を行ってください。
- ③ バッテリーケーブル端子取付け時の注意。
 - ・ +端子と-端子を間違わない様に接続してください。誤ると電子部品の破損や損傷の原因となります。
 - ・ バッテリーケーブル端子はバッテリーカバーと接触しないよう切欠部の中心を通る様にしてください。
- ④ 取付けは、プラス端子から取付けてください。
 - ・ プラス端子を先に取付けます。マイナス端子を先に取付けると、誤ってプラス端子とボディ間で接触した場合ショートして引火の原因となります。
- ⑤ バッテリーケーブル（端子付き）は純正品の使用を推奨します。
 - ・ 純正品以外の部品を使用すると、バッテリーケーブル端子やバッテリーケーブルが周辺部品と接触し、ショートして引火の原因となる場合があります。バッテリーケーブル端子交換時は純正部品の使用を推奨します。
- ⑥ バッテリーは純正部品の使用を推奨します。
 - ・ バッテリーは、同じサイズでもメーカーにより取っ手等の形状が異なる場合があります。形状の違いにより、バッテリーケーブル端子が周辺部品と接触する原因となる場合がありますので、バッテリー交換時は純正部品の使用を推奨します。

※形状は、機種により異なりますので現車にてご確認願います。



メンテナンスのご用命はタダノ指定サービス工場へ



株式会社 タダノ CS企画部作成